

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和7年度分）

施設名	茨城県営ライフル射撃場
施設所管課	教育庁学校教育部保健体育課
指定管理者	茨城県ライフル射撃協会
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日

1 施設の概要

施設所在地	茨城県桜川市真壁町桜井1074-2
施設の概要	- 敷地面積：17,302.51㎡ 50m射座25射座、10m射座26射座（屋内、冷暖房完備）、電子標的完備、バリアフリー仕様、ミーティングルーム、駐車場（6台：大会時は臨時駐車場有）
業務内容	- 射撃場の施設、附属施設及び備品（以下「施設等」という。）の支持管理に関する業務 - 施設等の承認等及び承認の取消し等に関する業務 - 施設等の利用料の収受等に関する業務 - その他上記に附帯する業務

2 職員の状況

常勤職員：	1人	非常勤職員：	1人	合計：	2人
-------	----	--------	----	-----	----

3 収支状況

令和7年度 (単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料	6,148,000	人件費（給与等）	4,780,000
利用料収入	1,880,090	諸経費（消耗品等）	188,617
その他の収入	22,729	光熱水費	1,889,710
		修繕費	231,550
		その他管理費	712,634
		施設管理費	335,670
		植栽管理費	14,936
収入合計	8,050,819	支出合計	8,153,117

4 利用状況

	令和7年度実績	令和6年度実績	令和5年度実績
① 年間利用日数(日)	260	257	257
② 年間利用者数(人)	3,354	4,236	4,050
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	1,880,090	2,035,820	2,022,150

5 サービス向上に向けた取組み

- ・電子標的の動作チェック、メンテナンスを毎週 1 回行った。
- ・50m射場の草刈り除草回数を増やし環境整備に励んだ。
- ・射場内の整理整頓、トイレ等を清潔に保つよう注力した。
- ・倉庫に棚を設置し利用者に開放し利便性を高めた。
- ・50m電子標的の白枠を自主作成し、標的を見やすく改善した。
- ・床面のキックマーク剥離を日々実施した。

6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

○実施方法

利用者満足度調査用紙を受付に置き、アンケートに協力していただけるよう案内した。

○調査結果

①開館日・開館時間

大いに満足 62.1%、満足 33.3%、ふつう 4.6%、不満 0%、大いに不満 0%

②職員・スタッフの応対

大いに満足 71.3%、満足 24.1%、ふつう 4.6%、不満 0%、大いに不満 0%

③ 施設の清潔さ

大いに満足 70.2%、満足 23.0%、ふつう 5.7%、不満 1.1%、大いに不満 0%

④プログラムの内容

大いに満足 57.5%、満足 28.7%、ふつう 13.8%、不満 0%、大いに不満 0%

⑤施設全体

大いに満足 64.4%、満足 32.2%、ふつう 3.4%、不満 0%、大いに不満 0%

○利用者からの意見等

【良い点】

- ・スタッフさんの対応がとてもよかった。とても過ごしやすい。
- ・千枚通しや計測機器等の道具の貸し出しなど様々な対応をして頂き、とても助かった。
- ・射座が多くて清潔で気持ちよく練習することが出来た。
- ・小数点まで表示できるようになっていたことや、点数の記録がレシートのように表示され合計まで出してくれる機械が良かった。
- ・全体的に清潔で電子銃を自身の体に合わせて調整できたのが非常に良かった。
- ・受付から丁寧に対応して下さり、とても安心感があった。
- ・生徒にもヒアリングして細かく教えて下さり、スタッフのアドバイスも頂けた。
- ・機材の使い方を丁寧に教えて下さり助かった。団体利用に際しても色々気を使って下さり、合宿を円滑に行えた。 など

【悪い点】

- ・特に記載なし。

【要望】

- ・駐車場が狭い。
- ・エアコンの冷房温度をもっと低くしてほしい。

○対応状況

- ・6 台以外の駐車スペースは、附帯道路に縦列駐車をお願いした。
- ・エアコンの設定温度は、県の指導によると説明した。

7 管理運営状況の評価

評価項目	事業計画 (管理指標)	実績 (管理指標に対するコメント)	自己 評価	所管課 評価
法令等の 遵守	法令や条例等（地方自治法、労働関係法、施設・設備の維持管理保全関係法令等）に基づく適切な管理運営が行われているか。	適切に管理運営が行われている。	B	B
維持管理	設備保守点検は、事業計画等に照らし適切か。	適切に管理している。	B	B
	整理整頓・清掃が行き届いているか。 (建物・植栽等)	適切に行っている。利用者に気持ちよく利用してもらうよう心掛けた。	A	A
	破損箇所の修繕は適切か。	適切に修繕している。	B	B
施設運営	使用日数、使用時間等は守られているか。	条例を遵守し、適切な運営を行っている。	B	A
	予約・利用許可等、利用者への対応は平等・公正に行われているか。	平等・公正な運営については、細心の注意を払って実行している。	B	A
	創意工夫により、魅力ある自主事業の実施等、施設の利用拡大やサービスの向上が図られているか。	月例会、ランクリスト競技会を開催し、施設利用の拡大やサービスの向上を図った。	B	B
	利用者の要望を把握し、運営に反映させ、満足度を高めているか。	アンケート結果、利用者からの要望等を場内で共有し、運営に反映している。	B	B
運営体制	職員は適切に配置されているか。	適切に人員配置を行っている。	B	A
	要望、苦情等への対応は迅速かつ適切か。県へ報告しているか。	対応は適切に行っており、県への報告も適切に行っている。	B	B
	事故・災害等、緊急時に備えた体制は確保されているか。	職員の役割分担を聞けて緊急時に行動できるようにしている。	B	B
	県、その他関係機関との連携は取れているか。	必要に応じて関係機関との連携は取れている。	B	A
利用状況	利用者数の状況は、計画を達成できているか。	前年度と比較し、利用者数が 882 人減少した。	C	C
	施設の稼働率は、事業計画に照らして適当な水準にあるか。	事業計画にほぼ沿えた。	B	B
収支状況	収支計画が適正に執行されているか。	利用人数の減少に伴い、赤字が生じた。	C	C
	経費削減に向けた取組みがされているか。	必要な経費については適切に支出し、経費節減に努めた。	B	B
【総合評価】・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価 - 施設及び設備の保守点検等を専門業者に委託するなど、適切に管理されている。 - 大会を積極的に誘致するなどライフル競技の振興に努めているが、前年度より利用者数が減少していることから、県民のニーズを的確に捉え、法人が持つ専門技術・知見を活かした施設の更なる利用促進に努めていただきたい。 - 総合的に適正であると評価する。				

※ ・実績（管理指標に対するコメント）欄については、指定管理者が記入する。

・総合評価欄については、所管課が記入する。

・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
B	事業計画どおりの成果があったもの

C	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの
---	------------------------